

平成 29 年 11 月 7 日 (火)

15:00~16:30 会議室

記録：八巻

出席者…桐ヶ谷、岩佐、大河内、松方、村川、水嶋

佐久間、碓井、森、高梨、斉藤、佐藤竜、佐藤登、牛島、佐藤潔、八巻 (敬称略)

はじめに

副校長より 本日の予定について

部活を見学いただいた後、全体で部活動についての意見交換、後、部会代表と意見交換を行う。

○校長あいさつ

見学いただく部活動について説明

本日野球部の見学はないが、練習試合で逗葉高校に敗退。しかしながら、シード校である星槎国際など上のレベルの学校との練習試合や遠征を行っている。グラウンドでは陸上部とサッカー部が練習中。サッカー部は新入生も入部、高等工科や横須賀高校などと試合を行い1年生でハットトリックを決めた選手もいる。陸上部は 400 メートル障害の陰山、競歩で栗本、インターハイ・国体に出場の田牧らが練習中。いつもグラウンドの奥で練習しているソフトテニス部は池子の森で練習中で不在。テニス部は1年生が多数入部、2年女子青木を中心に練習を行っている。体育館ではバドミントン部、バスケットボール部が練習中。バスケット部は男女とも熱心であるが、長身の女子選手 2 名がおり、スピードとテクニクに注目いただきたい。茶道部は師範の来校日で留学生のルイーザも稽古に参加中。吹奏楽部はアンサンブルコンテストでパーカッションとクラリネット八重奏が県大会に進む。剣道部はコーチ来校日、少人数ではあるが女子中心に活動し、徐々に型ができつつある。グラウンド、体育館、格技場の順にご覧いただく。

○部活動見学

○部活動の様子についてのご意見

水嶋：部員数が少ない。昨日の交通安全委員の大会参加者も美術部の 2 名だけであったが、最優秀賞を獲った 2 年福地のポスターは今後回覧し、会報にも載せる予定である。1 年高島の標語は佳作となった。陸上部がよく話題になるが、文化部も頑張っている。運動部の中でも部員数は柔道部 1 名、剣道部も 5、6 名しかいない。全体の生徒数からすると少ない印象が否めない。今後体育系の部活に参加してもらえるよう努力すべきである。

村川：途中文化部からの参加であるが、数は少ないが美術部・茶道部の質、作品のクオリティが非常に高いと感じた。美術部の生徒は、牛革製品の製作指導ができると言っていたが、受け答えもしっかりしている印象を受けた。アートフェスティバルでも出品された絵画が好評、逗子プラザホール以外にも個別で交流を持ちたい意向がある。テクニクというよりも味がある作品が多いことが地域のお店でも好評価を得られた要因ではないか。

松方：高校生の挨拶と笑顔がよい。好きなことに取り組んでいるひたむきさが伝わってくる活動をしている。また、小学生にはない力強いエネルギーを感じた。

大河内：1日だけの見学ではあるが、中学生と高校生の違いは、やらされているか、目的意識を持っているか、自主的にやっているかという点にある。前年見学した理科部には素朴な逗子高らしさがあった。今回見学した美術部も好きなことを頑張って作っていると強く感じられた。スポーツに関しては、やる方・見る方・支える方と様々な参加の仕方がある。何らかの形で関わっていることが大切ではないか。

岩佐：吹奏楽部の校舎外での練習など、伝統が守られていることがよい。運動部には以前あった部の中で現在はなくなった部もある。チームを組むことができない学校もある中で、やりたいことをどうサポートするか、発表の場をどう作っていくかということが課題である。また、文化部の発表の場はどこにあるのか、アートフェスティバルでの展示の他に方法を考えてみるのもよい。新しいつながりを探っていきたい。

桐ヶ谷：逗子高校は非常に恵まれた環境にある。近隣から音に対する苦情も来ないし、スポーツのためのスペースも広大である。生徒にはその環境を十分に堪能して生かして欲しい。運動部の活動は、言われたらやるのではなく生徒が考えてやることが、子供達の将来にとってもよいことであると考えている。自分達で考えて実行していくということを学べるよい機会である。理科部の3年生が抜けた後の部員数の減少が心配である。継続していくことができる仕組みがあるとよい。

○その他

今後の予定確認を行った。